

## 貴惣門

複雑な装飾が施された大きな貴惣門が、妻沼聖天山と呼ばれる寺院の境内入口の門です。1851年に建設され、3つある門のうち最初にくぐる門です。この木造の門は高さ13メートルを超え、8本の柱で支えられています。二層式の屋根は3枚の切妻が折り重なった特徴的なもので、その下にある彫刻を雨風から守っています。

軒とまぐさには、波の間をくねくねと進む竜や牡丹の花々の中を跳ね回る獅子のダイナミックな彫刻が施されています。その様子は、花々の中の鳳凰や中国古来の琴棋書画の複雑な彫刻と対比されています。貴惣門は、地元の人々からの寄付をもとに建設されました。寄付者の氏名は、彫刻にはめ込まれた小さな絵馬に刻まれています。

門の両側には、基本方位の四神、四天王のうちの1天の像が立っています。左側の像は、東勝身洲を守護する持国天です。そして右側が、北俱盧洲と仏法を守護する毘沙門天です。貴惣門は、重要文化財に指定されています。